

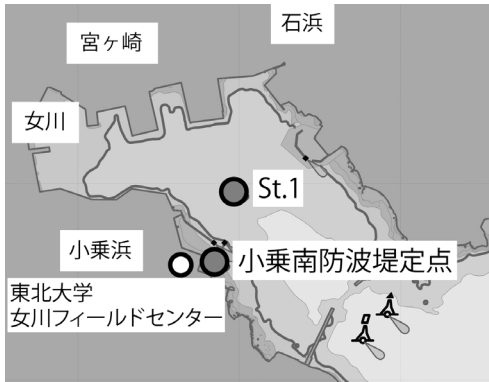
週刊 女川湾海況速報 (No.73)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

12 月 16 日から 20 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で下降し、11.2～11.6℃の範囲にあった。塩分については全層で上昇し、32.5～33.3の範囲にあった。経時的に水温は全層で18日まで下降し、19日に上昇。塩分については表層(0m)で19日までほぼ一定で推移し、20日に下降したが、底層(6m)では期間を通じてほぼ一定で推移。19日の水温の上昇は港外水の侵入の影響、20日の塩分の下降は降水の影響と推定。

水深 [m]	12月16日 (月)	12月17日 (火)	12月18日 (水)	12月19日 (木)	12月20日 (金)
0	11.5 (33.2)	11.3 (33.1)	11.2 (33.2)	11.4 (33.2)	11.2 (32.5)
6	11.6 (33.3)	11.3 (33.2)	11.2 (33.2)	11.6 (33.3)	11.6 (33.2)

水温の単位は℃。*16日と17日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的には期間を通じて全層で上昇傾向にあり、底層では特にそれが顕著。(単位はFTU)

水深 [m]	12月16日 (月)	12月17日 (火)	12月18日 (水)	12月19日 (木)	12月20日 (金)
0	0.9	0.8	1.0	1.6	2.6
6	1.1	1.1	1.4	2.7	9.5

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、7mg/l台を維持。経時的に表層では18日まで下降し、19日に一旦上昇。底層でも一定の値(7.3mg/l)で推移したあと、19日に一旦上昇。

水深 [m]	12月16日 (月)	12月17日 (火)	12月18日 (水)	12月19日 (木)	12月20日 (金)
0	7.4	7.4	7.3	7.5	7.4
6	7.3	7.3	7.3	7.6	7.3

単位は mg/l。水産用水基準(水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値)：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 11.2℃、33.2 であり、鉛直的に一定。濁度は 1.2～1.4FTU の範囲にあり、水深 5m 付近で最大。溶存酸素は 7.3mg/l であり、鉛直的に一定。先週と比較して、全層で溶存酸素が下降し、酸素飽和度も 81～83%まで下降。

12月18日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	11.2	33.2	1.3	7.3
5	11.2	33.2	1.4	7.3
10	11.2	33.2	1.2	7.3
15	11.2	33.2	1.2	7.3
20	11.2	33.2	1.2	7.3

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。